

有意義な人生とは

—進路の自己実現を考える—

(加筆訂正版)

栃木県日光市立湯西川中学校

講義資料

2017年10月2日(月)

14:00~14:50

日光市立湯西川中学校

多目的スペース

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 有意義な人生とは何だとお考えですか。

A : 夢を持ち、夢の実現に向かって、様々なことを学び、様々な取り組みをしながら、一步一步、歩いていくことだと思います。

(1) 仕事は人(お客様)や社会のお役に立ちます。

(2) 人や社会のお役に立つような仕事をするのを、是非、夢の中に入れてください。

(3) 仕事とは、お客様が抱える問題解決のお役に立つことですので、よく学び、工夫をし続けないとよい仕事はできません。

Q 2 : 夢は実現しますか。

A : (1) 私の好きなことばを紹介します。

If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれを実現することができる)

(2) これは、人類を初めて月に送り込んだ、アメリカ・ヒューストンの宇宙技術者の合言葉だそうです。

(3) 夢を実現するための第一歩は、夢(到着点・ゴール)を持つことです。

① 夢を持った上で、

② その実現に向かって、

③ 様々なことを学び、

④ 様々な取り組みをして、

⑤ ゴールを目指し一步一步、歩いていくことが大切です。



Q 3 : では、どのようにして、有意義な人生を実現するような夢を持てばよいのでしょうか。教えてください。

A : (1) 一番大切なのは、自分自身の「よさ」を知り、「そのよさをどんどん伸ばす」ことです。

(2) 勉強でしたら、自分の得意科目や大好きな分野は何かを自分でよく知り、誰に遠慮することなく、自分の力でどんどん伸ばすことです。

① 今日からノーベル賞の発表があります。

② ノーベル賞受賞者がどのようにして自分の能力を伸ばしたか、新聞や TV によく注意して学んでください。

(3) よくわからないところは、学校の図書館で調べること。

① 図書館で活用すべきは「辞書」「百科事典」「参考書」です。

② 湯西川中学校の図書館は素晴らしいものです。

③ 図書館の最大活用をおすすめします。

④ 図書館が活用できるのも大切な能力です。

⑤ 図書館は皆様の夢を実現する場所です。

(4) それでもわからないところがあったら、友達同士で教え合ったり、先生方に質問させていただくことです。

(5) 得意科目や好きな分野をどんどん勉強していくと、やりたいことや実現したい夢が少しずつ見えてきます。



(6)「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」という意味での「学力」を身に着けることが大切です。

(7)「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」という意味での「学力」が身に着くと

①多様な選択肢のある人生を歩むことができます。

②正常に機能する社会(持続可能な社会)の形成に貢献できます。

Q 4 : 学校の勉強ですか。思いもよらない答えでした。ほかにもありますか。

A : (1)新聞を、毎日、30分以上かけ一面から、なめるように読むことです。

(2)新聞には、日光市や栃木県、日本や世界で、今、何が起きているかが、詳しく書かれています。

(3)新聞を、毎日、一面から読むことで、世の中のことがよくわかります。

新聞をよく読んでいくと、今の世の中の課題や、これからどのような世の中になっていくかが、少しずつわかってきます。

(4)新聞を、毎日読み、自分自身でやってみたいこと、取り組んでみたいことを考えることも、夢を持つ上でとても役に立ちます。

(5)新聞を読んでいて、気になる記事があったら、「スクラップブック」に貼って何回も読み返しましょう。

(6)新聞を読んで身に着くのは、「自分で考える力」と「批判的思考能力」です。

(7)TV やラジオでも紹介されていますが、新聞を読むと、職業を含め世の中にはいろいろな進むべき道があることがわかります。また、社会の役に立つ仕事、社会的な活動、様々な生き方をしている方が、毎日のように紹介されているのが新聞です。

(8)新聞を読んで興味を持ったことをインターネットで調べると、さらに深い勉強ができます。



Q 5 : 新聞を読むことのほかに、したほうがよいことは何ですか。

A : (1)1日30分以上の本格的な読書です。中学生や高校生は、1日30分以上読書に励みましょう。大学生は、1日1時間以上読書に励みましょう。

(2)教科書で紹介されている本や、学校の図書館の本、先生方やご家族がすすめてくれる本を、時間をかけてしっかりと読むことを、おすすめします。

*私のおすすめは

①内村鑑三著「後世への最大遺物」「代表的日本人」

②福澤諭吉著「福翁自伝」「学問のすすめ」

③「スティーブ・ジョブズの伝記」です。

(3)できれば、湯西川中学校の学校図書館の本を、卒業までに全部読んでしましましょう。

図書館にある本でシリーズものを全部読む。同じ作家の作品を全部読む。

(4)読書を通して、作者との「時空を超えた対話」をしましょう。

(5)本を読んでいて、気に入ったところがあったら、「書き抜き読書ノート」に、たとえ一行でも、書き写しましょう。

この「書き抜き読書ノート」は、折に触れ一生かけて何回も読み返してみましよう。

皆様の素晴らしい「宝物」になります。



(6) 読書により身に着くのは、「読解力」と、自分自身を振り返る力「省察力」、「思慮深さ」です。

(7) よく生きるとは何か、どのような基本的態度で人生を歩んだらよいかを考えるのに、一番役に立つのが、「本格的な読書」です。

これぞと思う本は、一回だけではなく、何回も、ゆっくり時間をかけて、一語一語読み返しましょう。

(8) 皆様は、本を何回読みますか。教えてください。

本は6回読む。繰り返し読み、大切なことは覚えてしまう。空で言えるまでにする。



Q 6 : 学校での勉強は、社会で役に立つのですか。夢を実現するのに役に立つのですか。

A : (1) 学校での勉強は、社会で全部役に立ちます。

中学校で学ぶすべての教科の勉強、中学校での教科以外のすべての教育活動も、社会で役に立ちます。

① 国語は基本中の基本、社会に出て一番大事なものは「文法」と「古典」です。

正確に文章が読めること、正確な文章が書けること、話せること、聞き取れること

② 英語と PC は必須です。

③ 社会と数学と理科は高校3年生の内容まで正確に身に付けておくことです。

④ 音楽、美術、保体、技家なしでは豊かな生活はできません。

(2) ですから、学校での勉強や教育活動に、しっかりと取り組んでくださいね。

正確に文書かづ読めること、正確な文章が書けること、話せること、聞き取れること。

(3) 教科書や教材を読んでいて、意味のわからないことばがあったら、「気持ちが悪い」と考えて、必ず辞書で調べ、その場でことばの意味や書き方を覚えてしまいましょう。

調べたことは、「意味調べノート」や「カード」に書き写し、繰り返し読み直し、全部覚えてしまいましょう。

「ことば力」「語彙(ごい)数は力」です。

(4) 小学校・中学校・高校・大学などの学校の教科書や教材、ノートは、決して処分しないで、一定の場所に保存し、一生かけて何回も「学び直し」をすることをおすすめします。

(5) 少しずつでもよいですから、中学校時代に、「勉強の仕方」も身に着けましょう。

① 「予習の仕方」

・これから勉強することや行う予定のことを、テキストや資料を用いて、予め勉強する能力を身に着けましょう。

・高校や高校卒業後に進学する大学・短期大学・専門学校・専修学校で勉強するときや、学校を卒業してから仕事や社会的活動をするときには、予習は欠かせません。中学生のうちに、好きな教科だけでも予習をする能力を身に着けましょう。

② 「授業の受け方」

(ア) 手を机の上に置き、先生目と口元を見ながら、一言も聞きもらさないように真剣にお話を聞くことが第一。

(イ) 大切なことは、ノートにメモを取り続けることが第二。



(ウ)先生の指示で、様々な活動に参加することが第三。

③「復習の仕方」

・一度学んだことは必ず復習をすることも、大切な能力です。

④「定着の仕方」

(ア)一度学んだことは、すべて身に着ける、テスト・教材・問題集はすべて身に着けるのが「定着」

(イ)「定着」には、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」が、とても役に立ちます。この3つの練習を「定着のための3大練習」といいます。

⑤「試験の受け方」

(ア)「定期試験」の試験範囲のテキスト・教材・ノートは、スミからスミまですべて覚え、100点を取る。

(イ)テスト対策は1か月前から行う。

(ウ)入試や検定試験は、「過去問」10年分を5回解く。

(6)大切なことをメモすることができるのは、大切な能力です。

①「仕事はメモで身に着ける」ともいわれます。

②夢の実現にも役に立ちます。

③授業中、大切なことはノートを取ろう。

④できれば、あとで読みやすいように、メモやノートは工夫しながら取ろう。

⑤メモやノートは必ず何回も読み返し、整理しよう。

⑥できれば、大切なことはすべて頭の中に入れよう。

(7)「5S(ごえす)」も身に着けましょう。

①「整理」 seiri … 不要なものを処分する

②「清掃」 seisou … きれいに掃除(そうじ)する

③「整頓」 seiton … ものは決まったところに置く

④「清潔」 seiketsu … ①～③を継続する

⑤「躰」 shitsuke … 自分から進んで行く

・まずは、「カバンの中」で「5S」を。次に、「机」や「タンス」、「ロッカー」、「部屋」の中と少しずつ増やしていこう。



(8)別の意味の「躰」(しつけ)も大切です。

①「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」

・「服装第一」「おじぎはきれいに」

②「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」

・「です、ます」調で話すことができる



(9)中学校時代に身に着けておいたほうがよいエチケット。

①人に言われていやなことは、口にしない。

人からされていやなことは、人にしない。

②こちらから、元気にあいさつ。

③お先にどうぞ。AFTER YOU

④感謝は、ことばに出してはっきり伝える。



- ⑤食事のときは、全員の分がそろってから、食べ始める。
- ⑥靴は、手でそろえる。
- ⑦物を置くときは、音をたてない。
- ・「収入の範囲内で支出を」



Q 7. 最後に、好きなことばを紹介してください。

A : (1) 「スポーツの3つの宝」(小泉信三)

- ①「練習は不可能を可能にする」
- ②「フェアプレー」
 - (ア) ルールの中でプレーをする
 - (イ) いやしいプレーはしない
- ③「よき友」
 - (ア) 「チーム・プレー」
 - (イ) 「励まし合う仲間づくりを」



(2) 「教育ある人とは、勉強し続ける人」(ドラッカー)

- ①学校の教科書を学び直す
- ②新しい知識を自らの力で学ぶ



(3) 「一生勉強、一生青春」(相田みつを)

夢を実現するためには「主体的に学ぶ力」を身に着け、「高い志」、「青雲の志」を持ち、一生かけて学び続けること。それが青春です。

(4) ただし、「健康第一」です。

- ①「心の健康」
- ②「身体の健康」を大切に。
 - (ア) 「自分」や「他人」をあまり責めないこと
 - (イ) 「自分」や「他人」の「よいところ」をさがして、高く評価し、どんどん伸ばすこと
 - (ウ) バランスのよい食事、適度な運動。病気があったら、治療とリハビリにどんどん励むこと

ご清聴を感謝いたします。

ご質問やご意見があれば、ご自由にご発言ください。

ありがとうございました。

2017年10月2日(月)13時00分